

ARGUS 2

2024
No.542
アーガス

特装本づくりで培った技術を
新しいお客さまへ

特装本づくりで培った技術を新しいお客さまへ

渡邊製本株式会社

事業内容：書籍の製本と、ノートなど紙製品の企画・製造・販売
資本金：1,200万円
所在地：東京都荒川区東日暮里3-4-2

代表取締役：渡邊浩一氏
従業員：11名（2023年12月現在）
<https://www.watanabeseihon.com>



渡邊製本の代表取締役である渡邊浩一氏（写真左）と専務の彰子氏（右）夫妻は、市場縮小の危機感から新しい取り組みに着手。あくまでも顧客視点に立ったWEBサイトの拡充。そして特装本づくりで培った技術を活かしたオリジナル製品の開発によって新規顧客をつかむことに成功した

少部数・特殊な注文にも対応可能な製本会社

渡邊製本は、糸や接着剤を使って印刷物を本や冊子などにする「製本業」を営む企業だ。主に手掛けているのは、学術書や大学教科書をはじめとする書籍類。製造工程をあえてフルライン化せず、特殊で部数の少ない製本にも小回りよく対応できる点が強みである。

渡邊浩一氏が父・亮二氏の後を継いで代表取締役に就任した2008年当時、出版業界では市場縮小に歯止めがかからない状況だった。危機感を覚えた浩一氏は就任後、まずWEBサイトの拡充に力を入れたという。

「付き合いの古いお客さまだけを相手にしてはジリ貧だと考え、WEBサイトを充実させることで新規顧客の開拓を目指しました。そこで心がけたのが、徹底してお客さまの視点に立つことです」（浩一氏）

例えばサイト内に設けた「製本用語集」のコーナーは、集客に直接結び付かなくとも、顧客に役立つ情報を提供しようと制作。また、見積もり依頼フォームは書き込み箇所が多く入力に面倒な仕組みから、チェックマーク中心のやり方に変えた。こうして

顧客優先の姿勢を貫いた結果、サイトへのアクセス数や見積もり依頼数は激増。顧客からの直接発注を請けるケースが増えたことで、利益率は大きく改善した。

昔からの夢だったオリジナル製品作りに着手

同社は2014年から、360度折り返して使えるノート「BOOK NOTE（ブックノート）」をはじめとする自社製品作りに乗り出した。これらの開発に大きな役割を果たしたのが、浩一氏の妻で専務でもある彰子氏だ。

「私には昔から、オリジナル製品を出したいという夢がありました。それでデザイン専門学校を卒業して他社で働いていた娘などと協力しながらノートの試作品を作成。さらに専門家の方から『ペルソナ設定』やコンセプト作りなどの助言をいただきながら完成度を高めたのです」（彰子氏）

自社製品の売り上げは、国内外の展示会に出展したり文具ファンの間で評判が広がったりした結果、徐々に増えた。その結果、2019年には全売上額の6%、2022年には10%を自社製品が占めるまでになった。



渡邊製本は、機械では作れないような特殊なサイズ・仕様の書籍でも高い技術力と豊富な経験で対応可能だ



子どもの作品をゴムバンドで束ねて保管できるだけでなく、立てかけたり壁に貼ったりして飾って楽しめる「えぼっけ」

事業化チャレンジ道場で新製品開発を加速

彰子氏は自社製品開発を加速しようと、2018年から会社の「事業化チャレンジ道場」に参加。講義ごとに出される課題をこなすのは大変だったが、ものづくりの知識を学べたことや同期受講生から刺激を受けられたことがとても楽しかったと、彰子氏は振り返る。

道場で学びつつ、彰子氏中心の開発チームは新製品のコンセプトをまとめた。そして2022年に製品化を果たしたのが、子どもが描いた絵などをポケットフレームに入れて保存できる新製品「えぼっけ」だった。

「私たちは当初、自社の得意分野である『ノート』という形にこだわりすぎていました。しかし、道場のプロジェクトマネージャーからの的確な助言をいただく中で『この製品はいろいろな時期に多彩な形で作られた子どもの作品をひとまとめにして飾り、そこから家族のコミュニケーションを生み出せる点が最大の長所』と気づけたのです。そこでノートを作るという先入観から抜け出し、絵などの入ったポケットフレームをゴムバンドでまとめるというスタイルにたどり着くことができました」(彰子氏)

「えぼっけ」はARGUS 2022年8月号の「TOKYO逸品」で紹介しています。

https://www.tokyo-kosha.or.jp/kosha/public/argus21/ippin/2022/2022_08.html



社長の一冊

『デザインのひきだし』

グラフィック社刊

デザインや印刷、紙などに関する知識や技術情報をわかりやすく、しかも深く突っ込んで解説するプロ向けの情報誌。出版関係者を中心に人気が高く、完売するほどの売れ行きを誇る。

「毎号、製本の仕事に必要な最新情報や業界の動向が満載。知識をアップデートするため、知り合いの製本業者やデザイナーさんなどの中にも、愛読者がたくさんいます。パラパラとめくるだけで楽しめる、すごい本ですね。当社についても、記事などでよく取り上げていただいています」(浩一氏)

現在は海外進出支援も利用

渡邊製本は事業化チャレンジ道場以外にも、会社のさまざまなサービスを利用している。

「海外顧客向け展示会への出展や、海外の販売代理店とのマッチングなどで手厚い支援をいただいています。また、ジェットロが主催している海外販売支援プログラムの『TAKUMI NEXT』も、会社の担当者の方に紹介してもらって参加できました。海外進出を目指す当社にとってはありがたいサービスですね。会社の担当者の皆様は、役立つ情報を教えてくれたり当社を他社に売り込んでくれたりするなど、熱心な方ばかり。今後もぜひ、お世話になりたいと思います」(浩一氏)

利用事業：事業化チャレンジ道場
—ものづくりイノベーション企業創出道場—

事業化チャレンジ道場は、ものづくりにおける新製品開発を通じて、企画・製品化・量産化・商品化・販路開拓までの一連のプロセスを実践的に習得していただき、道場修了後も参加企業が自力で開発に取り組めることを目指すプログラムです。

新たな事業展開をお考えの企業をサポートします。

お問い合わせ 城南支社

TEL:03-3733-6284

会社 チャレンジ道場

検索





新たな市場を切り拓く!!

<事業化チャレンジ道場®>

令和6年度 参加企業の募集を開始!! (~4月12日)

「事業化チャレンジ道場」とは?

ものづくりにおける新製品開発を通じて、企画から販路開拓までのプロセスを習得し、新たな成長・発展に向けた新規事業の創出にチャレンジする事業です。

ゴールは自ら成長・挑戦・自走できる企業になることです。

※業種問わず、都内中小企業の方が対象です。
※詳細は公社WEBサイトをご参照ください。



こんな企業様におすすめします

会社を変えていきたいが、どのようにしたら良いかわからない。

下請体質から
脱却したい

自社で価格を
コントロール
したい

独自の強みを
生かしたい

製品開発の
進め方が
わからない

新規顧客を
得たい

参加企業様からの声

参加企業様からいただいた声「道場の体験で得られたこと」をご紹介します。

- 座学だけでなく、自ら考え、手を動かすことで、開発のプロセスを実践的に学ぶことができた。
- 下請け思考から脱却できた。
- 社内に一体感が生まれ、チャレンジ精神が醸成された。
- 新たな柱事業ができ、対外的な認知度が上がった。
- 道場参加を通して、社員の成長が目に見えてわかって嬉しかった。

参加企業様事例紹介

本事業を利用して、製品開発を通じた新規事業立ち上げに成功した企業様の事例をご紹介します。

株式会社昇栄産業

東京都八王子市中野町2588-3
TEL:042-625-9884
<https://yorikakari-shouei.com/>



産業機器商社からメーカー機能を持つ製造業へ挑戦。顧客の生産体制が海外シフトになりつつあり、付加価値のある自社製品の必要性を感じ道場の門をたたき、「寄りかかり」「少しの休憩」でリフレッシュできるアイテムを開発。



寄りかかり
休憩スタンド
[A-moment]

石道鋼板株式会社

東京都江戸川区松江4-25-17
TEL:03-3653-9321
<http://majin-teppan.com/>



厚板鋼板のガス切断加工業。今後の自社成長と事業承継を見据え、息子である取締役がチャレンジ。社内資源を最大限活用した製品化を目指した。厚さ19mm、5kgで肉を焦がさず中までしっかり焼き上げるアウトドア用品を開発。



肉専用
超極厚鉄板「MAJIN」



事業化チャレンジ道場の概要・流れ

事業化チャレンジ道場では、1年目の「売れる製品開発道場」と2年目の「事業化実践道場」を通して、新製品の開発や新規事業立ち上げのためのスキルを習得していただきます。
また、各フェーズの中で、企業の開発状況や組織体制に応じたサポートも実施いたします。

1年目

徹底したユーザー視点で開発スキルを身につける! 売れる製品開発道場 (連続講座+個別支援)



【メリット】

- ユーザー視点の製品開発スキルが身につく!
- 課題解決力、プロダクトデザインの考え方が学べる!
- 参加企業との交流が図れる!

【主な内容】

- 講座⇒演習⇒宿題⇒発表⇒専門家からの講評を繰り返すことで開発スキルを体得 (14回予定)
- 別途個別支援を実施 (4回予定)
- 専門家(プロダクトデザイナー・中小企業診断士)による講座や宿題の適宜アドバイス、試作サポート

※審査・選考を行い、参加企業を決定します。参加費用は1社7万円です。



目標 製品コンセプトを確立する



2年目

新製品をビジネスとして成立させる力を身につける! 事業化実践道場 (個別ハンズオン支援)



【メリット】

- 製品視点に加え事業視点での見方が学べる!
- 試作品づくりから製品化、販路開拓までの流れをトータルで学べる!
- 過去の本事業参加企業との交流も図れる!

【主な内容】

- 講座⇒演習を通して事業化スキルを体得 (5回予定)
- 担当の専門家(中小企業診断士)による個別支援を実施 (月1回予定)
- 事業化チャレンジ道場のブースにて、展示会に共同出展

※審査・選考を行い、参加企業を決定します。



目標 新規事業を立ち上げる



GOAL

自ら成長・挑戦・自走できる企業になる

お問い合わせ 城南支社 事業化チャレンジ道場担当
TEL : 03-3733-6284 Email : dojoyo@tokyo-kosha.or.jp
事業化チャレンジ道場の詳細は公社WEBサイトをチェック
https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/seminar/dojo_bosyu.html



公社 チャレンジ道場

検索

転ばぬ先の

法律相談

外国人を雇用する際の注意点

吉岡・小野総合法律事務所
弁護士 吉岡 真帆

Case

人材不足を補うため外国人を雇用することを検討しています。
外国人を雇用する際の注意事項について教えてください。

Answer

外国人を雇い入れる場合は、まずはその方の在留資格を確認し、出入国管理及び難民認定法（以下『入管法』といいます。）上、我が国で就労可能かどうか及び就労できる範囲を確認することが必要となります。在留資格は、その方の在留カードやパスポート等により確認することができます。

なお、就労が認められる在留資格を持たない外国人が就労した場合は不法就労となり、そのような外国人を雇用した事業主も3年以下の懲役または300万円以下の罰金ないしそれらの両方が科されることもあるため注意が必要です（入管法73条の2第1項1号）。

1 就労が許される在留資格

(1) 就労活動に制限のない在留資格

在留資格が、『永住者』、『日本人の配偶者等』、『永住者の配偶者等』、『定住者』の方は、就労活動に制限はなく、我が国で就労することができます。

(2) 所定の限度で就労が許される在留資格

在留資格が、『外交』、『公用』、『教授』、『芸術』、『宗教』、『報道』、『投資・経営』、『法律・会計業務』、『医療』、『研究』、『教育』、『技術』、『人文知識・国際業務』、『企業内転勤』、『興行』、『技能』、『技能実習』、『特定活動』（ワーキングホリデー、EPAに基づく外国人看護師・介護福祉士等）の方は、当該在留資格に定められた範囲で就労することができます。

2 原則として就労が認められない在留資格

(1) 在留資格が、『文化活動』、『短期滞在』、『留学』、『研修』、『家族滞在』の方は、原則として就労することはできません。

(2) もっとも、『留学』、『家族滞在』の在留資格は、資格外活動の許可を得れば、週28時間まで就労することが可能になるなど例外があります。これらの在留資格を有する方を雇用する際は、旅券の資格外活動許可証印や、資格外活動許可書を確認する必要があります。

3 外国人雇用状況の届出

在留資格が『外交』、『公用』、『特別永住者』以外の方を雇用した場合、事業主は当該外国人の雇い入れ、離職の際に、その氏名・在留資格などについて確認し、ハローワークに届出を行う必要があります。

4 外国人に対する労働・社会保険関係法規の適用

(1) 外国人労働者（不法就労者を含む）についても、労働基準法や最低賃金法、労災保険法などの労働法規、厚生年金保険法・雇用保険法などが適用されます。

(2) また、外国人労働者を雇用する事業主は、雇用する外国人が能力を有効に発揮できるよう職場に適応することを容易にするための措置を実施すること等に努めるものとされ、厚生労働大臣は外国人雇用管理指針を定めています。具体的には、募集を行う際の労働条件の明示や、賃金に関する説明、労働基準法の周知、安全衛生教育の実施や差別的取り扱いの禁止などが求められています。

外国人の雇用を検討するに際しては、この指針等も確認なさってください。

5 技能実習制度の見直しについて

現行の技能実習制度については見直しが検討されており、令和5年11月30日に有識者会議から最終報告書が法務大臣に提出されました。

最終報告書では、見直しの方向性として、①技能実習制度を人材確保と人材育成を目的とする新たな制度とする、②外国人材の技能・知識を段階的に向上させ特定技能制度への円滑な移行を図る、③本人意向の転籍を認めるとともに、監理団体等の要件厳格化等の措置を講じる、④日本語能力を段階的に向上させる仕組みの構築、等を示しています。

早ければ令和6年の通常国会で関連法案が提出される可能性があります。

■参考資料

「外国人を雇用する事業主の皆さまへ～外国人雇用はルールを守って適正に」（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000603552.pdf>



研究紹介 04 100%天然素材でできたストロー試作

都産技研では、東京の将来の活力を支える成長産業分野の研究開発事業体制を強化し、中小企業の皆さまにご活用いただける技術シーズの創出に努めています。気になる技術がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



海洋汚染問題によりプラスチック規制が広がる中、プラスチックストローは使い捨てプラスチックの世界的なシンボルとなっています。使い捨てプラスチックストローの代替品として、100%天然素材でできたストローの試作に取り組みました。

研究の課題と成果

1950年以降生産されたプラスチックは83億トンを超え、うち63億トンは、ごみとして廃棄されています。使い捨てプラスチックストローの代替品としては、紙ストローの需要が高まっています。しかし、添加剤や合成接着剤の使用など、環境への影響が考えられます。そこで環境負荷の少ない100%天然由来でできたストローの開発を目的とし、試作を行いました。試作品の目標は、水に浸漬させ2時間以上の使用が可能であり、耐熱温度65℃としました。カップ内に入った飲料水をストローで飲む場合、2時間以内に飲み切り、また家庭用電子レンジの飲み物温め機能において、温度の設定が55℃から60℃であることを想定しました1)2)3)。

その結果、100%天然由来の基材(和紙、繊維、木粉、突板)と食品に用いられる100%天然由来のバインダー(グルコマンナン、ワックス、シェラック等)の組み合わせにより2時間以上の耐久性と耐熱温度65℃の目標とするストローを試作することができました(図1)。

技術の効果

ストローの試作品は日本食品分析センターで衛生試験である溶出試験(ヒ素、重金属、フェノール類、ホルムアルデヒド)を行い、安全であることを確認しました。

適用可能な技術分野や製品など利用可能性

耐水性、耐熱性を有したこれらの基材とバインダーの組み合わせは、100%天然素材の環境に対応した食器、照明器具、玩具等への展開が期待できます。

文献

- 1) 酒井日出子「日本デザイン学会第69回研究発表大会概要集」PC-07 (2022)
- 2) 酒井日出子「木質資源利用技術と市場」24-33 (2023)
- 3) 酒井日出子「月刊BIO INDUSTRY 2023年3月号」20-27

研究員からの一言

繊維や木粉に対し、食品用の100%天然由来のバインダーで形状維持が可能な技術にご興味のある方は、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

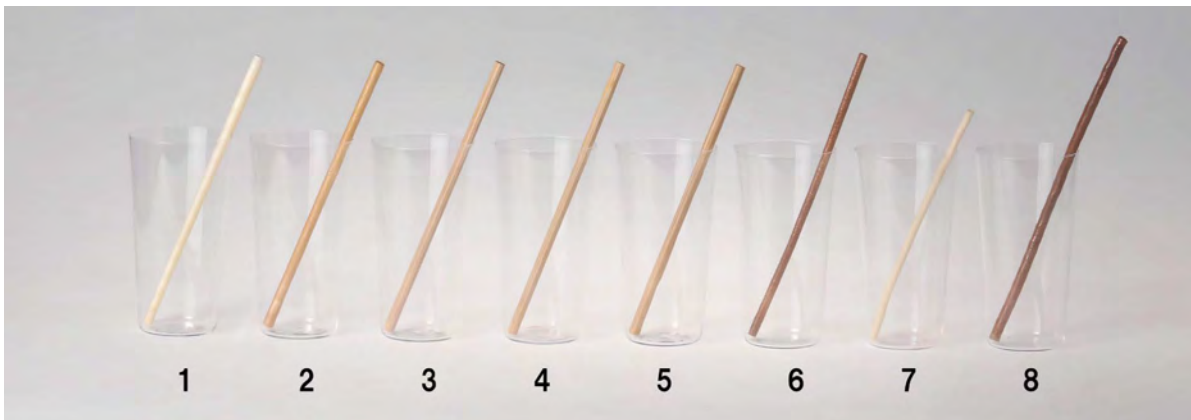


図1 100%天然基材と食品に用いられる100%天然由来のバインダーを用いたストロー試作

1. 和紙・キャンデリラワックス
2. 和紙・グルコマンナン・シェラック
3. 突板・グルコマンナン
4. 突板・米・カルバナロウ
5. 突板・ライスワックス
6. 繊維綿織・カラギーナン・シェラック
7. 繊維絹織・グルコマンナン・シェラック
8. 木粉・カラギーナン・シェラック

お問い合わせ

地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター (都産技研)
〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10 電話：03-5530-2521(経営企画室広報係) <https://www.iri-tokyo.jp/>



ものづくりの新製品開発による新事業創出セミナー&「事業化チャレンジ道場」説明会 参加者募集！

公社事業

新製品開発の進め方や事業化の考え方は、社内で身につけることが難しいスキルの一つです。そこで、新製品の開発から事業化までを一貫して支援する「事業化チャレンジ道場」(公社事業)で支援に携わってきた専門家が、ものづくりによる新製品開発と事業化を成功に導くために必要なプロセスや考え方をご説明します。その後「事業化チャレンジ道場」の概要についてもご説明します。

- 開催日時** 3月1日(金)14:00～17:00
受講料 無料
講師 吉村 隆一郎 氏(中小企業診断士/事業化チャレンジ道場 専門家)
内容 「新製品開発による事業化を成功に導くために必要なプロセスと考え方」「事業化チャレンジ道場の概要」
開催会場・方法 ①(公財)東京都中小企業振興公社 城南支社(大田区南蒲田1-20-20 大田区産業プラザ PiO2階)
②オンライン開催(Zoomウェビナー)
募集対象 都内中小企業の経営者・従業員のうち、ものづくりによる新製品開発に興味のある方(製造業以外の方もご参加いただけます)
募集数 ①50名 ②100名 ※先着順・要事前申し込み
申込締切日 2月26日(月)
申込方法 下記の公社WEBサイトもしくはメールにてお申し込みください。

お問い合わせ 城南支社 事業化チャレンジ道場担当
TEL: 03-3733-6284 Email: jonan@tokyo-kosha.or.jp
<https://www.tokyo-kosha.or.jp/topics/2401/0029.html>



令和6年度「経営人財育成スクールNEXT」

この度、入門コースと事業マネジメントコース(ベーシック)及び組織マネジメントコース(ベーシック)の募集を3月1日に開始します。

●スクール構成

【入門コース】 ← **【事業マネジメントコース：ベーシック→アドバンス】** → **【交流会】**
 【組織マネジメントコース：ベーシック→アドバンス】

●自社組織の課題解決や新たな事業を創る実践型スクール

入門コースは、経営人材の役割を認識し、ベーシックでは、講座で習得した知識を社内内外の実践活動を実行する過程でアウトプットしていき、経営人材としてのスキルを実践的に育みます。

入門コース及びベーシックのみの受講も可能ですが、通してのご参加をおすすめします。(※アドバンスの募集は8月頃を予定)

- 支援対象** 東京都内に事業所を置き、経営人材育成を通じて、自社の成長発展や組織活性化を目指す中小企業
※中小企業基本法で定める中小企業であること。大企業及びみなし大企業の方はご遠慮ください。
※経営者(代表権をお持ちの方)、講師と同業種のコンサルタントの方のお申し込みはご遠慮ください。
- 受講料** 入門コース10,000円、ベーシック(事業・組織)20,000円
(1社2名まで人数に関わりなく一律)
- 募集企業数** 入門コース40社・ベーシック(事業・組織)各コース20社
- 募集締切** 入門コースは先着順、ベーシックは4月30日(火)締切
※ベーシックは、お申し込み内容をもとに「受講意欲」「事業目的との適合性」「継続受講可能性」の観点から、選考をいたします。

■「経営人財育成スクールNEXT」説明会のお知らせ

開催日時 入門コース/ベーシック(事業・組織)：2月29日、3月8日、ベーシック(事業・組織)：4月19日、4月26日
申込方法 下記の公社WEBサイトからお申し込みください。

※本事業は、令和6年度歳入歳出予算が令和6年3月31日までに東京都議会で可決された場合に実施します。

お問い合わせ 企業人材支援課 経営人財育成スクールNEXT 担当
TEL: 03-3251-7904 Email: sangyo-jinzai@tokyo-kosha.or.jp
https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/jinteki_shihon/school/index.html

公社 スクールNEXT

検索



申請期限は3月末まで！ 消火能力が高い消火器の設置を助成します！ - テナントビル等安全対策強化支援事業 -

従業員の生命や会社の財産を守るため、「高性能型消火器」を設置し火災に備えましょう。

- 助成対象者** 都内での店舗又は事業所において事業を運営する中小事業者等
※中小企業者(会社又は個人事業主)、一般財団法人、一般社団法人、中小企業団体、NPO法人
- 助成内容** 高性能型消火器の購入に係る経費
※高性能型消火器とは、消火能力を著しく向上させた業務用消火器です。
※標準的な消火器、法定設置基準の設置義務を満たすために購入する消火器は対象外です。
- 助成率** 助成対象経費の2/3以内
- 助成限度額** 1点あたり最大2万円×5点(1事業者最大10万円)
- 申請方法** 郵送又は電子申請 ※詳細は以下の公社WEBサイトをご確認ください。



お問い合わせ 助成課 テナントビル等安全対策強化支援事業 事務局
TEL : 03-3251-7924
<https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyō/tenanto.html>

公社 テナント 消火器 検索



第17回「としまMONOづくりメッセ」ぜひご来場ください！ 入場無料

豊島区内を中心とした約90社の企業が、優れた技術、匠の技、食品や雑貨などを展示・販売する区内最大級の産業見本市です。外部講師によるセミナーや、大人から子どもまで楽しめるものづくり体験教室など、さまざまな企画をご用意しております。

- 開催日時** 2月29日(木)～3月2日(土) 10:00～17:00(最終日は16:00まで)
- 会場** サンシャインシティ文化会館4F展示ホールB(豊島区東池袋3-1-4)
- 主催** としまMONOづくりメッセ実行委員会

お問い合わせ としまMONOづくりメッセ実行委員会事務局
TEL : 03-4566-2742 Email : A0029099@city.toshima.lg.jp
<https://www.toshima-messe.jp>



貴社の魅力をもっと広く発信しませんか？ 東京都多摩地域投資誘致プラットフォーム インビテーション to TAMA (新設)

多摩地域の8市(八王子市、府中市、調布市、町田市、日野市、狛江市、多摩市、稲城市)では広域連携による「多摩川流域連携会議」を設置しており、8市に所在する企業データの情報や各市の特徴・魅力を地方都市に向けて発信するホームページ「東京都多摩地域投資誘致プラットフォーム インビテーション to TAMA」を今年度中に新たに構築予定です。

地方都市の企業等と多様な関係構築(技術提携、委託生産、販路拡大)を目指して貴社の情報を本ホームページに登録し、広く魅力を発信しませんか？

- 対象** 上記8市のいずれかに所在する企業
- 掲載情報** 業種・事業内容・企業PR等
- 登録料** 無料
- 申込方法** 下記のWEBサイトからフォームに入力してください。
- 申込締切** 3月13日(水)



お問い合わせ 多摩川流域連携会議事務局(調布市行政経営部企画経営課)
TEL : 042-481-7368 Email : kikaku@city.chofu.lg.jp
登録フォーム : <https://logoform.jp/form/tbbj/439414>



お知らせ

ピックアップセミナー

公社主催のセミナーをお届けします！
詳細・最新情報はWEBサイトをご覧ください。

月	日にち	セミナータイトル	時間	会場	費用 (税込)	担当 部署
4 月	4月9日(火)	財務・経理入門研修 初めて財務・経理部門で働く方を対象に“経理とは(簿記とは)何?”を簿記一巡の手続きに沿ってわかりやすく説明します。数多くの仕事事例を通じて経理業務の全体像を把握することができます。	10:00~17:00	オンライン	8,000円/人	企業人材
	4月16日(火)	ビジネス文書・電話対応研修 電話対応では、受け方、取り次ぎ方、伝言マナーを習得します。ビジネス文書では、定型文、メールマナーと書き方を習得し、相手に気持ちよく伝わる文書を作成することを目指します。事例演習・ロールプレイングで、職場ですぐに役立つよう体験学習を進めます。	10:00~17:00	秋葉原庁舎 (千代田区)	8,000円/人	企業人材
	4月23日(火)	人事・労務入門研修 人事労務担当スタッフとして必ず直面する「採用」から「退職」までの間に生ずる仕事、および「年間業務」「人事労務スタッフの役割」について、そのポイントを新任担当者にも理解できるようわかりやすく解説いたします。	10:00~17:00	秋葉原庁舎 (千代田区)	8,000円/人	企業人材

*公社の研修は中小企業向けのため、講師と同業・コンサルタントの方はご遠慮ください

公社 イベントカレンダー



企業人材 企業人材支援課

専門家に経営の相談をしてみませんか？ ワンストップ総合相談窓口のご案内

ご相談は無料

24時間WEB予約

公社事業

- 東京都内の中小企業、個人事業主、フリーランス、創業予定者のための相談窓口です。
 - 中小企業診断士、ITコーディネータ、社会保険労務士、税理士、司法書士、弁護士等の専門家が親身に対応いたします。
 - 経営相談は、電話、オンライン、対面、メールでのご相談、法律相談は、オンライン、対面でのご相談が可能です。(オンライン、対面でのご相談は、事前予約制です。)
- まずはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ 総合支援課
TEL : 03-3251-7881 Email : sien@tokyo-kosha.or.jp
https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/soudan/

公社 ワンストップ



働きながら学びたい方のための「キャリアアップ講習」(3月募集)のご案内

東京都では、主に中小企業で働いている方(都内在住又は在勤)を対象に、スキルアップや資格試験受験対策等のための短期講習を行っています。ぜひご利用ください！

- 3月募集講習例** プラスチックの基本成形作業、製くつ(企画・デザイン)【中級】、第三種電気主任技術者科目合格対策(機械)、CAD製図(建築)(AutoCAD)【初級】など55コース
- 会場** 各 東京都立職業能力開発センター・校
- 受講料** 1,600円~6,500円(税込)
- 主催** 東京都立職業能力開発センター
- 募集対象** 主に中小企業で働いている方(都内在住又は在勤)
- 申込方法** 以下のWEBサイトなどで内容をご確認の上、往復はがき・インターネット(電子申請)のいずれかの方法で、各講習を実施する都立職業能力開発センター・校へお申し込みください。(企業単位でもお申し込み可能です。)
- 申込期間** 3月1日(金)~3月10日(日) ※必着

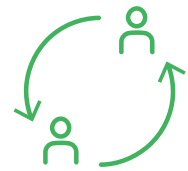
お問い合わせ 東京都産業労働局雇用就業部能力開発課
TEL : 03-5320-4719
https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/zaishokusha-kunren/carr_up/

東京都 キャリアアップ講習



登録企業情報コーナー

会社では登録制による受発注紹介を行っています。
本コーナーでは受注・発注など登録企業からの情報を発信しています。
このコーナーへの掲載や掲載企業へのお問い合わせは事前登録が必要です。



受注情報

以下のような加工や開発の対応ができる公社会員企業様がいらっしますので、委託先等にお困りの際にはぜひお問い合わせください。

業種・事業内容など	所在地 資本金 従業員数	受注内容	得意分野	自己PR
広告を中心とするビジュアル制作事業	港区 10,000千円 14名	■撮影 スチール撮影および動画撮影 ■画像処理 高解像度画像処理によるレタッチ ■ビジュアルディレクション 制作するビジュアルに対してのディレクションサポート ■プロデュース 予算管理、スケジュール管理、クオリティ管理	・「人物撮影・物撮り・シズル撮影・料理撮影」などあらゆるジャンルの撮影 ・ミニマムな撮影からREDを用いたドローン撮影など幅広く対応 ・高解像度画像処理や3DCGの合成などのレタッチ作業 ・撮影現場でのリアルタイムなレタッチが可能 ・自社スタジオ完備	主なサービス un (アン) 「個性豊かな唯一無二のクリエイター」 do (ドゥ) 「企業によりそいサービスで課題を解決」 iii (トロワ) 「AIで不可能を可能にする」
照明のLED化に伴う商品選定及び販売・工事の請負	中央区 3,000千円 1名	電気代の高騰によりLED化のご検討をされているお客様へご提案させて頂きます。現在使用している蛍光灯器具や水銀灯からLED化した場合の商品選定と工事代の見積書の作成、及びコスト削減のイメージ表の作成を行います。2030年度に照明市場がLED及び有機ELやレーザーなど半導体照明率100%に向かう国策に対応してまいります。	現場調査にお伺いさせていただきますのでご協力の程よろしくお願い致します。現在使用している器具や付けられている状態の写真撮影、及び明るさのチェックなどをさせて頂きます。業務中にご検討の場所に立ち入りを行うため、調査にご迷惑をお掛け致します。もしご都合が悪ければ調整可能です。ご希望日時等をお知らせください。	LED照明及び関連商品のご提案もお待ちしております。

お問い合わせ 取引振興課 TEL : 03-5822-7250 Email : torihiki@tokyo-kosha.or.jp

東京都中小企業の景況 ~東京都産業労働局 商工部 中小企業の景況調査~

令和5年12月調査 《11月の景況》

業況：やや悪化
見通し：横ばいで推移

11月の都内中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合-「悪い」とした企業割合）は、当月▲31（前月▲26）とやや悪化した。今後3か月間（12～2月）の業況見通しDI（当月（11月）に比べて「良い」とした企業割合-「悪い」とした企業割合）は、当月▲23（前月▲23）と横ばいで推移した。

※都内中小企業の景況指標ダッシュボード
<https://www.keikyuu-dashboard.metro.tokyo.lg.jp/>



都内各地域の景況情報（令和5年12月）

都内各地域の景況情報をお伝えします。この情報は、取引振興課と城東支社・城南支社・多摩支社の三支社の企業巡回員が企業を訪問し、お話を伺った内容をまとめたものです。

都心・城北・城西地域（取引振興課より）

全体的に景況は横ばいの状況。AI等を活用したサービス業の景況が好調であるが、印刷関連の業種は依然、不調が続いている。価格転嫁については、ある程度対応できているようである。

城東地域（城東支社より）

景況が悪いと答えた企業のうち、繊維工業では、暖冬の影響から冬の受注量が減少したとの声があった。その他、経営環境の変化により廃業や事業承継に悩む長寿企業が見受けられた。

城南地域（城南支社より）

半導体製造装置関連は低調が続いており、24年夏ごろまで回復しないとの危惧あり。工作機械関連は、中国の景気低迷を背景に、依然として悪い状況が続くが、一部で底を打ったとの声も聞かれる。

多摩地域（多摩支社より）

多摩地域の中小製造業は、半導体関連の企業が多い。半導体は24年度前半から回復、25年にピークを迎えると見込まれ、急激な需要増への備えが必要。ただし、26年以降は読み切れない状況である。

城東支社 TEL.03 (5648) 6606

〒125-0041 東京都葛飾区東金町1-23-2
澁澤金町ビル2階



城南支社 TEL.03 (3733) 6284

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20
城南地域中小企業振興センター [2階・3階]



多摩支社 TEL.042 (500) 3901

〒196-0033 東京都昭島市東町3-6-1
産業サポートスクエア・TAMA



ARGUSとは…ギリシャ神話に登場する百の目を持つ巨人の名前で、死角の無い彼は怪物退治などで多くの手柄を上げたといわれています。また、その様から鋭い目で見張る人という意味もあります。会社はこのARGUS（アーガス）のように、変動激しい経済環境を注視し、将来を見通す目を持って都内中小企業に経営支援を提供していく決意から、広報情報誌「アーガス」としています。



商品ジャーナリスト・北村 森

「オペラも楽しめる集音器」を目標に…



今回取り上げる商品は、上の写真のどこにある？ 耳元にご注目ください。これはイヤホンか。違います、集音器です。補聴器との違いは医療機器扱いではないところで、基本的なメカニズムや用途は同じです。購入してすぐ使えるのが集音器。聴く人に必要な音をリアルタイムで上げてくれるアイテムです。

アドフォクスは補聴器や集音器のプロフェッショナル企業ですが、この商品の開発には5年かかったらしい。「思わず惚れるという『感性の領域』を目指した」と代表はいいます。

内蔵するスピーカーの口径は13.5mmと業界最大級としました。「そのほうが自然な音になると確信しています」。なるほど、まずは内部機構を磨いたのですね。そして、感性の領域を目標としたのは、音質だけでなくデザイン面も同様でした。

ああ、だから上の写真のように、人が着けると自然と溶け込むフォルムなのか…。「音質の水準に、デザインも合わせたかっ

た」からだ、代表は力説します。集音器のイメージをなんとかして一新したいという強い意志を、そこに見てとれます。

これ、大事な話だと私は感じました。思わず着用したくなるデザインであればこそ、この商品の存在価値は高まります。

「日常生活はもちろん、オペラも楽しんでもらえる集音器に」という代表の言葉に、この商品の狙いが端的に表れています。

HearMore Ciel
販売価格 11万5,500円(税込)
形状も音質も優れた集音器
アドフォクス株式会社
(東京都青梅市)
<https://adphox.co.jp/>



植物油インキを使用しています。

